



つの がい 角替石材店 新聞

先日、多治見に行ってきました。急に出発を決めたのですが、岐阜を訪れる際には行きたいと思っていた「多治見モザイクタイルミュージアム」に立ち寄りました。ここは時々この新聞でも紹介している藤森建築のひとつです。空間や質感、スケール感はやはり実際に訪れないとい味わえないと改めて感じました。

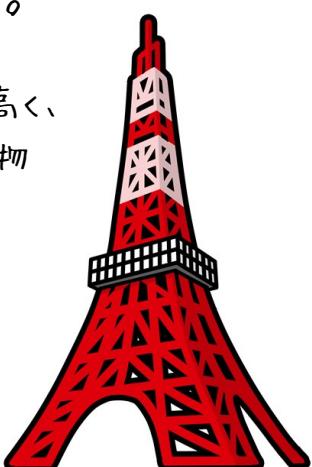


細部にも面白い発見がたくさんあり、来て良かったです！多治見はやきものの町で知られているので、少し車を走らせるだけで、窯場や焼き物工場などいろいろ目に入ります。初めて訪れる町はどこも大変興味深いですね。弾丸日帰りの小旅行でしたが、充分楽しいものになりました。実は今回の旅の一番の目的は、仕事で関わっている事を調べる中で、実物をどうしても見てみたいという目的でした。そのことはまたいずれお話をきけばと思います。さて、今年も残り少なくなってまいりました。どうぞ良いお年をお迎ください。

知つて いますか？ 12月の記念日

●12月23日は「東京タワーの日」です

1958年（昭和33年）のこの日に、東京 芝公園に「東京タワー」が完成しました。高さ333m、フランス・パリのエッフェル塔の312mより21m高く、当時は世界一の高さの建造物となりました。自立式鉄塔としては、2012年に東京スカイツリーが完成するまで日本一の高さを誇り、今でも東京のシンボルとして観光名所になっています。



■発行者:株式会社 角替石材店

専務:角替立弘 (つのがい たつひろ)

昭和46年富士市生まれ。

岳陽中、富士宮北高、建築の学校を経て、東京の設計事務所で2年間働きました。

父親、妻、息子2人の3世代5人家族です。読書とモノ作りが好きで、石はもちろん金属や紙を使って作品を作るのが趣味です！

※国家検定1級技能士(社長)

※二級建築士



角替石材店 展示場

0120-21-6649

静岡県富士市厚原2108-3

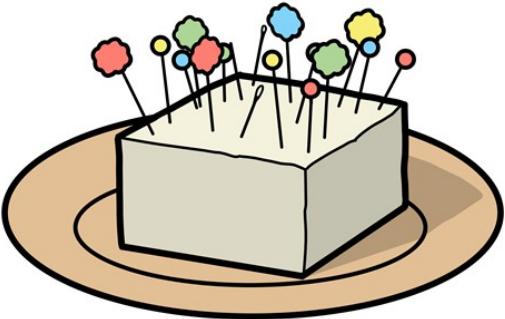
～お墓・仏事のミニ知識～

★針供養とは？

針供養は、折れたり曲がったりして使えなくなってしまった針に感謝して供養し、もっと裁縫が上達するようにと願う伝統行事です。一般的には2月8日か12月8日に行われ、地域によって異なります。

この日は針仕事を休み、豆腐やこんにゃく等の

やわらかいものに針を刺して供養します。始まりは平安時代ともいわれる古い行事で、庶民に広まったのは江戸時代とされています。現代でも寺社等で行われており、裁縫を伝えた神少彦名命(すくなひこのみこと)を祀る和歌山県の淡嶋神社の針供養は特に有名です。これまで働いてくれた身近な道具に感謝する針供養は、物を大切にする心を育む意味でも大切に残していきたい伝統行事です。



仏事クイズ Q&A

知っているようで知らない仏事のことや言葉の意味をクイズで確かめてみましょう。

Q

京都でも屈指の観光スポット、金閣寺。その正式名称は「〇〇寺金閣」ですが、当てはまるのは次のうちどれでしょう？

- ① 慈照寺(じしょうじ)
- ② 龍安寺(りょうあんじ)
- ③ 鹿苑寺(ろくおんじ)

ヒント

お釈迦様が初めて説法された場所にちなんだ開基・足利義満の院号からつけられています。

まちがいさがし



上下の絵に間違いが3個あります。探してみましょう。

※クイズとまちがいさがしの正解は、表面の一番下の部分をご覧ください。

ご縁を大切にしたいとの想いで、発行しています。